

平成21年7月臨時会会議録

平成21年7月2日 木曜日 午前10時00分開会

町 田 義 昭 議 長 鈴 木 武 次 副議長

出席議員（18名）

1番	竹 田 博 一	議員	2番	鈴 木 悟 司	議員
3番	我 妻 昇	議員	4番	大 道 寺 信	議員
5番	谷 口 栄 子	議員	6番	蒲 生 光 男	議員
7番	佐々木 謙 二	議員	8番	安 部 隆	議員
9番	渋谷 佐 輔	議員	10番	高 橋 孝 夫	議員
11番	大 沼 久	議員	12番	藤 原 民 夫	議員
13番	鈴 木 良 雄	議員	14番	小 関 勝 助	議員
15番	鈴 木 武 次	議員	16番	鈴 木 新 助	議員
17番	蒲 生 吉 夫	議員	18番	町 田 義 昭	議員

+

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内 谷 重 治	市 長	新 野 潔	副 市 長
	総務課長兼選挙管		
飯 澤 常 雄	理委員会事務局長	平 英 一	財 政 課 長
遠 藤 健 司	企 画 調 整 課 長	松 木 英 司	税 務 課 長
宇津木 正 紀	市 民 課 長	中 井 晃	健 康 課 長
船 山 祐 子	福 祉 事 務 所 長	矢久保 浩	消 防 主 幹
大 滝 昌 利	教 育 課 長	遠 藤 正 明	農 林 課 長
齋 藤 理喜夫	商 工 観 光 課 長	鈴 木 一 則	建 設 課 長
平 進 介	管 理 課 長	那 須 宗 一	文化生涯学習課長
佐 藤 孝 博	学校給食共同調理場長		

事務局職員出席者

松 本 弘	議 会 事 務 局 長	小 関 浩 幸	補 佐
-------	-------------	---------	-----

+

高 橋 由 美 主 任 塚 田 知 広 主 任

議 事 日 程

平成 2 1 年 7 月 2 日 木曜日 午前 1 0 時 0 0 分開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案第 7 0 号 平成 2 1 年度長井市一般会計補正予算第 4 号

(質疑、討論、表決)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

+

+

+

開 会

○町田義昭議長 おはようございます。

ただいまから平成21年第5回長井市議会臨時会を開会いたします。

開 議

○町田義昭議長 これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程をもって進めます。

なお、この日程につきましては、先ほど開催されました議会運営委員会にお諮りし、内定を見ておりますので、ご了承をお願いいたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○町田義昭議長 日程第1、会議録署名議員の指名であります。会議規則第81条の規定により、ご指名いたします。

11番 大 沼 久 議員

12番 藤 原 民 夫 議員

13番 鈴 木 良 雄 議員

以上、3名の方をお願いいたします。

日程第2 会期の決定

○町田義昭議長 次に、日程第2、会期の決定であります。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○町田義昭議長 ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

お諮りいたします。これより上程いたします議案は、委員会付託を省略し、全員でご審議願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○町田義昭議長 ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

日程第3 議案第70号 平成21年度長井市一般会計補正予算第4号

+

○町田義昭議長 それでは、日程第3、議案第70号 平成21年度長井市一般会計補正予算第4号の1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内容重治市長。

（内容重治市長登壇）

○内容重治市長 おはようございます。

議案第70号 平成21年度長井市一般会計補正予算第4号についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に2億4,587万円を追加いたしまして、予算の総額を歳入歳出それぞれ110億2,421万9,000円といたすものでございます。

このたびの補正は、主なものといたしまして、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費1

億9,400万円、市税等還付金2,500万円、山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費1,781万円などを追加いたすものでございます。

また、これらの補正の財源といたしまして、地域活性化・経済危機対策臨時交付金1億7,697万4,000円、前年度繰越金4,226万8,000円、山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費補助金1,781万円などを計上いたすものでございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○町田義昭議長 提案者の説明が終わりました。

これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。

17番、蒲生吉夫議員。

○17番 蒲生吉夫議員 説明は簡単でありましたが、中身は盛りだくさんでありますので、幾つかについてお聞かせ願いたいと思います。

最初に、福祉事務所長にお伺いいたしますが、生涯学習プラザのかつて教育委員会が事務室として使っていた部分に子育て支援センターを移動するために、その周りを改修をすると、大変いい事業だというふうに思います。市単独でこういう予算を組んでするなんていうのはちょっと難しいかもしれないけども、今回のようなこういう事業にのせてできるというのは、本当にいいなというふうに思います。周りも見てきましたけれども、それなりにやっぱり使い勝手はこれまでよりもずっといいのかなというふうに感じました。

その後、四ツ谷公園の遊具、それと清水町、保育園のところにある、いわゆる都市公園の中にあるブランコなども見てきましたけれども、どうもやっぱり雪に押されてブランコのポールが曲がったようで、かえなければならないというふうには思います。四ツ谷公園の方は、幼児が乗る遊具の増設が中心になっているんですね。しかし、見てきたところ、トイレのドアが男女

別々にありますけれども、そこが大体ぼろぼろになってるんですね。それと滑り台の一番最後おりるところの手すりのところがさびて朽ちているところがあるんですね。急いで予算組んだんだと思いますので、この中にはスプリング遊具の2基、ターザンロープ、滑り台（幼児用）を1基というふうに、増設するようになっておりますが、もう1回きちっと見てもらって、危ないところは撤去して、事故が起きると大変ですよ。これまでもあやめ公園高台のところ、何回か事故があったように、その意味では、予算を組む段階ではこういう大ざっぱなところでしょうがないと思いますけれども、そういうふうに、例えばトイレのドアを直すような、そういうような検討をできないだろうかというふうに思ってるんですね。どのように考えておられるかをお聞かせを願いたいと思います。

○町田義昭議長 船山祐子福祉事務所長。

○船山祐子福祉事務所長 蒲生吉夫議員のご質問にお答えいたします。

四ツ谷公園につきましては、トイレが2つございまして、議員おっしゃるとおりに、ドアの方の破損といいますか、トイレの方も直さなければいけないなということは、私も四ツ谷公園に出向きまして見てきたところでございました。遊具を直すようにしたものですから、そちらの方についても、検討しなかったということもございまして、蒲生議員おっしゃるとおりに、ドア、または現在あります滑り台のさびについてるところにつきましても、再度検討してまいりたいと考えておるところでございます。

○町田義昭議長 17番、蒲生吉夫議員。

○17番 蒲生吉夫議員 予算書の12ページの寺東いちょう公園整備設計委託料と工事請負費についてお聞かせいただきたいと思いますが、あの公園は、もともとあやめ公園の入場者が本当多かったところに、駐車場として使っていたことがあるんですね。それも寺東区画整理事業の中

でできた土地というふうになっておりまして、公園らしくできたときには、整地されて、本当にいい、何もないう公園だというふうに私は思いましたが、いつぞやか、時間がたつにつれて、カヤ、ヨシではないですね、雑草で覆われている状態だというふうに思います。今回、その設計をして、例えば排水路を入れるとか言ってましたけれども、整地をし直すというふうに言うておられますが、その後、管理していかなければ、時間がたてば同じような状態に私はなるんだというふうに思うんですね。そういう意味では、その後どういう使い方をするか、どういう管理の仕方をするかというあたりのことまで含めて、検討なさっていることがあれば、建設課長、お伺いしたいと思います。

○町田義昭議長 鈴木一則建設課長。

○鈴木一則建設課長 蒲生議員のご質問にお答えいたします。

このたびのいちよう公園の整備についてでございますが、一昨年ほど前から、十日町地区の地元から、いちよう公園の活用についてというふうなお話をいただいておったところでございます。その際に、なかなかこれを直接的にできるという部分が、予算が組めないということで、地元としては、できる限り自分たちの力で何とか活用したいというふうなご意向が強いというふうなことをお聞きいたしておりました。

蒲生議員おっしゃっていただきましたように、以前にあやめ公園の駐車場といいますか、臨時の駐車場などに使われておりまして、当時、さまざまな残土といいますか、いろいろな土が、かたい土が入れられていったということがございまして、そのために、なかなか地元では、今の状態では手がつけられないというふうなことがございまして、その後もお話をいただいた中で、何とか市の方でも手を加えられないかというふうなことがありまして、たまたま今回このような財源がございましたので、何とか表土を、

今、手がつけられない状態になっている表土をはがし、さらには抜根といいますか、いろいろカヤとか、そういう根がすごくはびこってますので、そちらの方を取り除いた状態で、表土を整地をして、それでいきたいということで計画をしているところです。

その後の管理については、十日町地区長さんを中心に、地元の方々に、ちょうど近くに白ゆり保育園ができたりしておりますので、そちらの方と、遊び場とか、それから緊急避難所というふうなこともあると思いますが、そういうような活用もいろいろさまざま考えたいというふうなこともご意見をいただいておりますので、地元でいろいろ花壇整地とか、さまざまなことをやっていくというふうなお話をいただいた上で、今回、私どもの方ではできる限り、いわゆる底地といいますか、基盤整備的な部分を私たちの方でこのお金を使ってやらせていただきたいというふうなことで、要望いたしまして、つけていただいたという経過でございます。

○町田義昭議長 17番、蒲生吉夫議員。

○17番 蒲生吉夫議員 大変整備していくのはいいと思いますが、あの広さを地区で管理するというのは、私はちょっと、最初の約束はいいと思いますけれども、ちょっと難しいのかなというふうに思います。

というのは、かつてゲートボール場が欲しいといって、ゲートボール場をずっとつくってきたんですね。その後ペタンクの会場にするというふうにして、そういうところもあります。しかし、今、どういう状態かというと、ほとんど草だらけで使われてない方が多いですね。結局市の土地ですから、市が管理しなければならぬように私はなるんだと思います。地区長さんを中心と言うけども、今頑張ってる地区長さんはいいいと思います。しかし、いずれ地区長さんというのはかわっていきますから、その体制になるとはちょっと考えられないと思うんですね。

+

そういう意味では、長く管理していくということを考えていけば、逆に、今、白ゆり保育園の遊び場、公園みたいな格好にも使えるようにというような話でありましたが、市の土地を有効に利用するという意味では、もうちょっとやっぱり展望を持った考え方をしていた方がいいのかなというふうに思っているんですね。

そこで市長にお伺いしますが、はなぞの保育園や清水保育園をいずれ建てかえていきたいと、今、移管している部分ですね。清水保育園は都市公園の中に建ててるんですね。その意味では、いずれ、あそこをなくせば、かつて丸三商会の建物があったあたりに移そうという計画があったことはあったんですね。ちょっと難しいかなというふうに思っています。その意味では、移管したものであっても認可の保育園ですから、私はあの辺、いちょう公園あたりを念頭に置いて、それもやっぱり使っていこうと考えるのであれば、私はアクセス的にも、大通りから今の清水保育園や今のはなぞの保育園の周辺から見ても、そう悪くはないんじゃないかなというふうに思うんですね。

それで、建設課の方ではあそこをまずきれいにして、使い勝手をよくしようと。それぞれのところでそれぞれに考えてはやっぱりだめなのではないかなというふうに思うんですね。そういう福祉的な、児童福祉的な部分なんかが、あの辺ならいいのかなというふうに考えてるんですけれども、市長、また別のことを考えてるなら別のことでいいですし、お答え願えればありがたいなと思います。

○町田義昭議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

はなぞの保育園と清水保育園につきましては、あわせて1カ所に新築という形で建設を予定しておりますが、建設予定地につきましては、まだ具体的には、検討中ということで、決定しておりません。

蒲生議員からありましたいちょう公園というのも一つの案だというふうに思っております。できれば中心市街地の中に保育園、子供たちの笑い声とか、そういう声が聞こえるような、そういった施設を中心地に持ちたいというふうに思っておりますが、公園内に建設することについては、長井市の都市公園の面積がぎりぎりであるということもあって、公園内に建設する場合の建ぺい率等々の課題もありますので、そういったことをいろいろ勘案して、決定していきたいと思います。いちょう公園もその一つだとは考えております。以上でございます。

○町田義昭議長 ほかにございませんか。

8番、安部 隆議員。

○8番 安部 隆議員 9款でちょっとお聞きしますけれども、消防費であります。この欄におきまして、今回、経済危機対策臨時交付金というようなことで交付されておりますけれども、具体的な内容的なものをお聞きしたいと。資機材の整備というようなことでちょっとお聞きしていただけますけれども、具体的にお聞かせをいただきたいというふうに思います。

○町田義昭議長 矢久保 浩消防主幹。

○矢久保 浩消防主幹 安部議員のご質問にお答えを申し上げます。

このたびの補正予算につきましては、消防団員に対する活動服並びにアポロキャップを整備させていただくものでございます。以上でございます。

○町田義昭議長 8番、安部 隆議員。

○8番 安部 隆議員 消防団員の待遇改善というようなことで、それも大変ありがたいというふうに思いますけれども、ここで市長に伺いたいのは、やはり安心・安全という中で、これまでも、今回もその安全という面では、蓄積をしていくのかなというふうに、私、とらえているわけです。全体的な長井市の安全保障という観点から考えて。

そういう中で、一つ、今回、当局というか市長が考えているのかなというのは、今年度始まる前後から、北朝鮮のミサイル発射問題において、我々国民、県民、市民は右往左往しながら、どうなるんだろうというようなことで過ごした経過があるわけでありまして。そういう中で、新聞等はE m－N e t というような一つのネット、総務省から直の安全対策、そういう情報をキャッチするというような内容が報道されたわけでありまして。そしてこれが長井市においては直接のネットは完備してないわけで、県からの、危機管理室からの連絡の中で来ますけども、これがファクス通信で3分。そして長井市に入ってから、長井市では地域防災無線等々はございませんので、ことしの春の光化学オキシダントでも、多分長井市に広報での連絡が入ったのは二、三十分かかっていると。これでは有事に対しての対応という、我々、市民に対して、連絡網というのが非常に不備ではないかと。確かに行政防災無線というのは、アンテナが上がってるように、県、市町村は完備してますから、いざ長井市に入った場合は皆無に近いと。伝達方法が非常におくれていると。そして今回はまさしく有事だったわけです。若干ミサイルの軌道が南の方に来れば山形県も通過するというような状況の中で、やはり住民の生命というものを重視して、いかに早く避難をさせるというようなことを考えた場合には、この辺はどのようなことでお考えになられ、今後そうしたことを整備されていくのかをお聞きしたいなというふうに思っています。

○町田義昭議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

このたびの消防隊員の活動服とキャップということで、1,000万円強予算化いたしましたけども、これは、西置賜の中では長井市だけが活動服を持ってないということがございまして、団の方からも要請があったということから、今

回決定したところでございますけども、安部議員からお話ありました件につきましては、E m－N e t というものに接続することはもちろん可能でございまして、ご指摘のとおりだと思います。その選択肢もあったというふうには思いますが、やはり長井の場合は、市民の皆様いろんな機器といいますか、待避とか避難をしていただくような伝達するツールもなかなか整備されておりませんので、そちらについては今回緊急経済対策の中ではなく、実はJ A Nの方で、日本・アルカディア・ネットワークのインターネットテレビという中で検討しております。それは地震の速報を兼ねた、各世帯でそれを設置していただいて、緊急通報でそれを各世帯にお知らせすると。と同時に地域情報であったり行政情報をお知らせすると。そういったものをあわせて、各世帯にお知らせするようなシステムを、あわせて一体として整備していくべきではないかなということで、そちらの方で検討しております。まだ具体的な段階まで入っておりませんが、これから3年計画ぐらいで、インターネットテレビでそういった危険情報とか待避勧告とか、そういったものをお知らせするようなことで検討しているところでございます。

○町田義昭議長 8番、安部 隆議員。

○8番 安部 隆議員 近い将来かわかりませんが、インターネットのライブで全戸そういう普及をしていただくというようなことは、大変進歩的なもので、大変よいものだと思います。でもそれはある程度時間もかかるのかなというふうに思いますけども、やはり緊急避難的に考えていかなきゃならない問題だというふうに私は思うんです。

そして国民保護法が施行されてから、武力攻撃事態等における訓練等もこれまでやってきましたが、これはすべて防災訓練に便乗した訓練であって、非常事態の訓練とは言えない状況もあることは、私も認識してるんですね。全部便

+

乗なんです。ですから、地震や災害、自然災害に対するそういった避難訓練に乗っかってるだけで、今回の例えばミサイルが通過して、破片が上空で、性能が余りよ過ぎて途中までと、そうなった場合に、いかに早く生命を守るかといったときには、そんな長井小学校のグラウンドに避難するなんていう問題ではないんですよ。それにはやはり早い市民に対する情報を出す。県から来るのが3分です。5分あれば通過してしまうという時代の中で、それから長井市では広報活動をして、早くて二、三十分かかると。ですから、この辺はもう少し真剣に考えて、まず確かなものを構築していただきたい。それには、やはり団員の待遇改善も、それも大事であります。ですが、こういう問題も、市長、今回、この辺で、私もあとは言いませんけども、またある機会にこの問題をいろいろ伺いたいなというふうに思います。本当に、市長もご存じのとおり、隣の川西町はあるんですよ、有線。多分市長も聞いてると思いますけど、新田あたりに行くと、朝と昼と夕方、川西町は消防本部の一斉放送があるんです。有線のそういった通信網を持ってるんですね。やはりそういったところに何か手をつけていただく、検討していただくというようなことの方が、インターネットよりは確かだし、早いんじゃないかなというふうに私は思いますので、その辺、最後に質問をしまして、市長の答弁をお聞きたいと思います。

○町田義昭議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 安部議員からのご指摘のように、そういった有事の際の対応等々については、まだまだ長井市の場合に対応が整備されてないというふうに認識しております。今年度、ハザードマップをつくったわけでございますけども、今年度といたしますか、ようやくつくったばかりでございますが、これから防災計画をすべて見直ししなきゃいけないというふうに思ってお

りますので、その中で安部議員からご指摘があった部分についても対応していきたいというふうに思います。以上でございます。

○町田義昭議長 ほかにございませんか。

3番、我妻 昇議員。

○3番 我妻 昇議員 私も同じく9款消防費なんですけど、所管の委員会ですけれども、委員会付託を省略していますので、細部について質問させていただきます。

消防主幹の方がよろしいかと思いますが、消防団員に活動服、上下ですよ、あとアポロキヤップということで支給されるというわけで、この前聞いたところによりますと、今まで使っていたはっぴもそのまま使うんだということで、この活動服については、訓練のときや火災のときなどを想定してこれを支給するということですが、ということは、活動服とはっぴが二重に支給されるわけですが、今後、消防団員というのは新入団員が必ずあるわけで、ことしも60名ぐらいいらっしゃったんでしょうか、今後も新入団員というのは毎年来るわけですが、そのたびにどちらの服も支給されていくのかどうか。ということは、今後の予算の方も変わってくるのではないかなと。今回はこれでいいとしても、今後どのようにこの2つの服というものを支給されていくのか、その計画についてお尋ねいたします。

○町田義昭議長 矢久保 浩消防主幹。

○矢久保 浩消防主幹 ただいまの我妻議員のご質問にお答えを申し上げます。

活動服につきましては、ただいま我妻議員のおっしゃったとおりに、活動服並びにはっぴも今後も継続していきたいというふうには考えております。ただ、活動服につきましてもはっぴにつきましても、退団なされる方から、また新たに団員になられる方への引き継ぎというような形、また、はっぴについてもそのように考えております。

なお、やはり体型等もありまして、どうしてもそういった形で合わない方もおられると思いますので、そういったものに対しては、新たに購入した形で対応することになろうかなというふうに思っているところでございます。

なお、消防被服につきましては、ただいま消防団副分団長以上の幹部の皆さんにつきましては、制服としたものが配られております。そういった形で、いろいろ消防団行事につきましては、儀式とか、または訓練、現場活動、そういったものを区分けをした形のもので着用するというようなことになっております。はっぴにつきましても、従来は現場活動にという形で使われたわけですが、現在では甲種と乙種とした被服に分けられておりまして、はっぴにつきましてもそういった儀式とか、恒例行事とか、そういったものに使用されるべきものと思っているところでございます。以上でございます。

○町田義昭議長 3番、我妻 昇議員。

○3番 我妻 昇議員 ありがとうございます。
ということは、今までよりは今後は予算措置を考えているということですね。必ず多くなりますよね。退団した人から引き継ぐということですが、それでも合わない場合は買ってるわけですので、そういうような理解でよろしいですか。今までよりは予算措置が多くなるというふうに考えてよろしいですか。

○町田義昭議長 矢久保 浩消防主幹。

○矢久保 浩消防主幹 予算措置的に今現在よりも増すのではというようにございすけれども、今現在でも新入団員の皆様につきましては、はっぴ並びにズボンほか、略帽、そういったものを支給しておるわけでございますので、若干は、活動服につきましても上下で約1万二、三千円というところでございすので、若干増すのかなというふうには思っております。

○町田義昭議長 3番、我妻 昇議員。

○3番 我妻 昇議員 わかりました。

協議会でも言ったんですけれども、いざ火事場に出動したときに、署員と消防団員の差がなくなると、アポロキャップについては全く同じものをかぶるわけですし、服については若干違うものの、ぱっと見た目はわかりづらい、区別しづらいということで、その辺で指令のことに支障が出るのではないかと、情報が錯綜するのではないかとというふうに私も言ったわけですが、その辺のところのご配慮をぜひお願いをして、火事場でスムーズに消火活動できるようにしていただきたいと思います。

もう1点、工事請負費で、警鐘台を撤去したりということなんですが、気になったのは、撤去したものはどうなさるのかなと。結構な量の鉄くずと、あと半鐘も、それをどうするのかなと。インターネットで調べても、半鐘のオークションというのはなかなかないようですけれども、一部マニアの方は集めてる方もいらっしゃるのかなと、ということは、高く売れるのではないかなというふうに思ってるんですが、鉄く

+

○町田義昭議長 矢久保 浩消防主幹。

○矢久保 浩消防主幹 ただいまのご質問にお答えを申し上げます。

半鐘の撤去または警鐘台の撤去ということでございすけれども、警鐘台の主に鉄くず等については、有価物関係の処理というように形で考えてございます。

また、半鐘につきましては、ただいま地区の方からもこの撤去について要望があったもので、ただ、半鐘につきましては、やはり今までの存在感、または思い込み、そういった部分も十分にございすので、地区内に残していただきたいというようなご要望もあります。また、半鐘を取りつける際も、いろいろ由緒あるような半鐘もあるというふうにもお聞きをしておりますので、そのような対応をとっていきたいというふうに思っております。

+

○町田義昭議長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭議長 ほかに質疑もないので、質疑を終結し、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭議長 ご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第70号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○町田義昭議長 起立全員であります。よって、議案第70号は、原案のとおり決定いたしました。

最後にお諮りいたします。本臨時会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭議長 ご異議なしと認めます。よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

閉 会

○町田義昭議長 これをもって平成21年第5回長井市議会臨時会を閉会いたします。

ご協力、まことにありがとうございました。

午前10時38分 閉会

会議録署名議員

+